

しげい病院
通所リハビリテーション事業所を
ご利用していただいた方の

目標

公共交通機関を
利用して一人で
受診や買物ができる

事例の ご紹介



Cさん

60代男性

〔要介護：3〕

プロフィール

要介護3。脊髄硬膜動静脈瘤の術後、5ヶ月の病院入院期間を経て自宅退院。しげい通所リハビリテーション事業所を週2回利用。

介入後の経過と効果

歩行の安定性向上→耐久性向上→段差昇降（バスを想定して高い段差）と利用者のレベルに合わせ段階を踏みながらリハを実施。リハビリテーション会議に家族も参加して頂き、リハでの進捗状況と自宅でも出来る可能性のある動作等の情報提供とご協力依頼（歩行器歩行でのスーパーまでの往復やバス利用しての受診の付き添い等）をした。通所リハビリテーション利用開始から10ヶ月後に、要支援2となり、デイサービスへ移行し、しげい通所リハビリテーション事業所を卒業。



工夫した点

- ▶ 歩行器の使用法の習得や屋外の坂道や凸凹のある道の練習等、屋外で使用する練習を繰り返し実施したこと。
- ▶ バスを想定した高さの段差昇降機器での練習や必要となる筋力トレーニング方法を指導し自宅でも実施できているか、毎回確認をしたこと。
- ▶ リハビリテーション会議などで自立した生活のイメージを本人、家族ともに考える機会を持てることで、より具体的な問題点や方法をイメージ・共有していただくことができたこと。
- ▶ できるようになった動作をご家族に伝えることで、自立の支援として協力して頂けるよう促すことができたこと。

